

2016年度 第1回 番組審議会 議事録

I. 開催概要

2016年6月20日(月)15時30分～16時30分 キッズステーション本社会議室

II. 出席者

1. 審議委員 : 7名

鵜沢由美子 (明星大学 人文学科 人間社会学科 准教授)
蛭原英里 (チャイルド・ボディ・セラピスト)
北風祐子 (株式会社電通 マーケティングソリューション局 部長)
菅谷 実 (慶應義塾大学名誉教授)
高芝利仁 (弁護士)
田口成光 (脚本家・放送作家)
大地丙太郎 (アニメ監督)

[50音順;敬称略]

2. 事業者側 : 8名

[経営] 山本 雅 (代表取締役社長CEO)、山中崇之 (取締役COO)
[編成] 押田聖弘 (編成部長兼制作部長)、生駒裕之 (編成部長代理)、
竹内誉人 (制作部長代理)、北口拓也 (制作部員)
[事務局] 飯野博之 (経営企画室長兼広報室長)、孫 英活 (広報室長代理)

III. 議事内容

1. 社長挨拶 株式会社キッズステーション 代表取締役社長CEO 山本 雅

2016度最初の開催となる番組審議会にお集りいただき、有り難うございます。本年度もどうぞよろしくお願いたします。本日は未就学児童と母親を対象の当社看板番組「子育てTV ハピクラ」を取り上げます。皆様からのご意見は今後より良い番組作りのために活かしたいと考えておりますので、忌憚なくご発言いただければと思います。

2. 番組審議会参加メンバー紹介

キッズステーション出席者及び番組審議委員の紹介を行った。

3. 委員長、副委員長の選出

番組審議委員の互選により、番組審議会の委員長に北風氏、副委員長に田口氏がそれぞれ選出。

4. 番組審議 司会進行: 北風委員長

対象番組 「子育てTV ハピクラ」 第60話及び第61話

① 番組説明

- 放送日時: 第60話 6月1日午前9:30～他、第60話 6月6日午前9:30～他
- 主要対象: 未就学児童、母親
- 放送尺 : 30分(HD)

□概要:

楽しいことがいっぱい“ハピクラの森”から、歌が大好きなまあたん、ダンスが得意な ガシャキン、食いしん坊な妖精の男の子・ラッピー、ちょっぴりおてんばな妖精の女の子・クルン、魔法使い見習いのジャルル、物知りのなんじゃ仙人が、毎回身近な題材をテーマに歌ったり踊ったり、子どもの五感や想像力・創造力を高めるエンターテインメント性の高いコーナーが満載。

②合評: 委:番組審議委員/局:キッズステーション

局: 4月より未就学児童向け「ハピクラ ♪タイム」枠及びその中でメインの編成番組となる「子育てTV ハピクラ」が大きくリニューアルされました。また、CS放送、ネット（ハピクラ動画視聴アプリ、YouTubeでの配信、会員サイトでの展開）、リアルイベントでの三位一体での取組みにより、より広く多くの方々への認知度向上に努めております。

「子育てTV ハピクラ」の番組リニューアルの主なポイントは、以前は歌のおねえさんまあたとハピクラのキャラクター中心に番組が構成されていたものが、「ゴーゴー！のりものタウン」や「子育てTV ハピクラ」内のコーナーで活躍していたガシャキンが、ダンスのお兄さんという形で新たにレギュラーメンバーに加わり、出演することになった点です。ガシャキンが加わることで、ダンスという要素をより強く訴求することができるようになりました。また去年はCGのハピクラのキャラクターが進行役を務める回も放送していたのですが、4月からはスタジオ収録によるライブアクション主体の編成に切り替えております。

その他、イオンシネマで行われる「ハピクラふれあいダンスコンサート」の公開収録の様様をお届けする回も放送しており、コンサートにお越しいただいたお客様への満足度向上、及びコンサートの魅力をお伝えすることによる来場訴求を行っております。

「ハピクラ ♪タイム」枠のリニューアルでは、ハピクラの仲間達の他、未就学児童向けターゲットに合った当社出資の次期主力キャラクターや、協賛企業スポンサー様キャラクターも訴求できるように、他の作品も併せて放送して行くという形を取っています。

具体的には、自社制作コンテンツでは「子育て TV ハピクラ」、「ゴーゴー！のりものタウン」。当社出資コンテンツとしては「コロコロアニマル」、「ブーブーボーイ」、「パパンがパンダ」。協賛企業スポンサー様のコンテンツには「GO!GO!カートくん」、「ラララ ララちゃん」、「トミカハイパーシリーズ」があります。

例えば、「パパンがパンダ」についてはハピクラのキャラクターと共演する特別バージョンが30秒～2分枠を利用して、番組間のCM枠で流れております。また、「パックマン」は、ハピクラのキャラクターとダンスしながら、じゃんけんをするというコーナーに登場します。更に、「ジャジャン」もテーマソングをもとにしたPVを制作し、ハピクラのキャラクターと共演するタイプを含めた幾つかのバージョンを用意して毎日放送しております。

委: イオンさんとの取り組みが多いようですね。もう少し詳しく教えていただけますか。

局：イオンモールが、キッズステーション視聴者がお住まいの地域に多いということと、同モール内にある子ども向け遊戯施設のユーザー層と「子育てTV ハピクラ」の視聴者層には重なる部分、高い親和性があると思っております。

昨年イオンシネマ全国の劇場で「ハピクラコンサート」の公開収録を行っておりますが、各会場でアンケート調査をしてみると、初めて同コンサートに足を運んだ方が50%以上いらっしゃいました。以前、当社主催のイオンシネマ以外でホールを借りて運営していた時は、住んでいる所から遠くてなかなか行けなかったという人が多かったのですが、イオンシネマで公開収録を行うようになって、来場者が増えるようになりました。

委：色々な意味で「子育てTV ハピクラ」がパワーアップしたということを理解しましたが、まあ自身自身が特にパワーアップしたというか、以前に比べてかなり良くなった印象を受けました。彼女の安定感が増したように見受けました。

局：その通りだと思います。昨年12月頃から良くなったのがはっきり分かるようになりました。まあ自身はハピクラに登場して今年で5年目を迎え、2年前からは年下の演者も加わり、責任感が増したのが良い結果に結びついたのかも知れません。

委：まあ自身には、しっかりした存在感があり、安心して見られます。彼女は歌が本当に上手なので、もっと歌って欲しいと思います。出来れば、彼女の独唱で日本の古き良き時代の童謡を歌ってもらえるようなコーナーがあってもよいと思いました。

話しは変わりますが、ハミガキング(6月の番組オリジナルソング)の映像には、若いお兄さん達が出てくるのと一緒にガシャキンも出てきて、キレのあるダンスを踊り、大活躍していると思いました。

「子育てTV ハピクラ」はリニューアルされ、全体的にテンポもよく、内容も大変面白くなり、アプリも上手く使われ、一体感が上手く醸し出されていると思いました。

委：イオンシネマでの「ハピクラふれあいダンスコンサート」には、今度是非娘と一緒に行ってみたいと思います。

私には2才手前の娘がいますが、ハピクラが始まる時間を覚えていて、毎朝番組のオープニング曲に体を合わせて楽しく踊っています。また、ひらがなを覚えるコーナーが好きなようです。ところで、まあ自身は歌だけでなく、キーボードも弾けるのですね。とても上手いなと思いました。

委：ハピクラジャスティス(番組内コーナー)は、日本語で言うと正義という意味になると思いますが、番組内でこういった言葉が使われ、小さいころから慣れ親しんで、頭の中に残って将来大人になってこの言葉の意味をしっかりと知ることが出来れば、とても良いと感じました。

ダンスは小さな子どもにとっては少し内容的に高いレベルだなと思いました。ただ、子どもによってはすぐにその位のレベルに追いつく子もいるでしょうし、簡単過ぎてもすぐ飽きられてしまうので、そ

の辺の判断はあるかと思いますが、全体的にパワーアップした番組内容はとても良いと思いました。

委：私は少し違う観点から意見を述べさせていただきます。皆さんが言われる通り、番組としてパワーアップしたということは感じます。ただ、色彩のバランスに関してですが、色を使い過ぎたセットの前にキンピカの衣装のキャラクターが乗ることでキャラクターの動きが捉えにくいと思いました。あまりにもキラキラし過ぎると、どれが一番良く見せたいのか、分からなくなりますので、良い色彩感覚を子ども達に養ってもらう為にも、このあたりは改善の余地があると思います。

また、先程 ジャスティスという言葉についてお話しが出ましたが、せっかく子ども達が新しい言葉を習う機会ですので、最初にしっかりと、ジャスティスとは正義という意味だということを説明した上で、先に進むとか、子ども達が理解する間とか、飲み込むまでの区切りとか、そういった丁寧なリズムがあってもよいのではないかと思います。

ハミガキングの歌は、歯磨きしてすぐブクブクに行ってしまうので、それでは少し早すぎるなどと思いました。歯磨きを実際やってみるとお分かりかと思いますが、ハミガキングは少し簡略し過ぎるように思いました。こっちを磨いたら、次は違う箇所を磨くというような、口の中を十分磨いた上で、ようやくブクブクに移るという感じで、お兄さんが時間をかけてしっかり磨いてから、うがいをするように演出すれば、本当に歯磨きの気持ち良さが伝わるのではないかと思います。

以前からのコーナーなのですが、正義の味方が4人いると、少し困っているキャラクター、意地悪をしているキャラクターの区別がしづらく、子供から見てもっと分かりやすくしてもいいのではないのでしょうか。

委：スタジオ収録された第60話を見ますと、皆さんがパワーアップされたと言っている通り、完成された感がありますね。「子育てTV ハピクラ」はより良い番組になってきたと思います。

一方で、ライブが収録された第61話を見ますと、ライブ感は伝わってきますが、映画館ということもあり、観客の踊ったり、飛んだり跳ねたりの自由度が限られることから、収録の際には少し制約があるように見受けました。

もう一つ、YouTubeも見たのですが、ハピクラのコーナーを2~3分位に小分けにして配信されていると思うのですが、かなり再生回数も多く、CMが入っているものもありますね。私の2才弱の孫が見ても喜びそうなものが置いてあるなと思いました。YouTubeをきっかけに、「ハピクラふれあいダンスコンサート」をこれから見てくれる人が増えて行くのではと思いました。

音楽ビジネスでは、パッケージ商品の売上げが伸びない中、ライブコンサートの観客動員数、収入が伸びていると聞いています。ハピクラのようなコンテンツをライブや、配信を使い今後どのようにビジネス展開されて行くのか興味深いところです。

委：ハミガキングについて一言。結局このコーナーの趣旨が歯磨き啓蒙のためのものであると思うので、歯とか歯ブラシをあてる角度を見せるよう、止めの絵が挿入されてもよいのではと思いました。

あと、ハピクラジャスティスの中でパカッとかピクッとかという言葉が出て来ますが、確かに若い人を中心にこのような省略した言葉遣いがされていますが、もう少し教科書で使われているような言葉遣いをしてよかったですのではないかと思います。

委： 幼児向け番組を作る上で言葉遣いは教育面を考えると悩む事がよくあります。テンポ、歯切れよくするという意味で使う言葉と、しっかりした言葉遣いを促すという、両方のバランスを取るということは難しいものがあります。番組作りの際は苦勞されたと思います。

委： ハミガキングに関してですが、小さな娘がちょうど歯を磨くのが嫌に思う時期に入っていて、出来たら毎日決められた時間に、これから歯磨きだよという定時のお知らせのような感じで、自分に似た小さな子ども達も楽しみながら、しっかり磨いているという様子も映しながらやっただけだと、抵抗なく歯磨きさせやすいのかなと感じました。毎日、お兄さん達と一緒に楽しく磨く、参加型にさせていただくと更に良いかなと思いました。また、磨き具合が分かるように鏡で見るような演出があってもよいのではと思いました。

委： そうですね。十分磨き終わったと思っても、裏側に磨き残しがあったり、大人がよく歯科医に指摘されることがありますが、大切なことなので、しっかりと子どものうちから分かってもらうことは大事ではないでしょうか。

局： ハミガキングには、皆さんから様々なご意見、ご指摘をいただきまして有り難うございます。このコーナーは1ヶ月間続くものですが、今回制作にあたり、小さな子ども達に歯磨きについて興味を持ってもらうところまでが目的としていました。演出は過剰にならないよう配慮しました。

「子育てTV ハピクラ」は実尺30分程の番組ですので、限られた時間の中で、色々な要素が入っており、場面転換する部分で編集の制約上、コーナー振りが十分出来ていない部分もあり、正直詰め込み過ぎ感、確かにテンポが全体的に早いというところはあります。

イオンシネマでの収録はご指摘いただいたように放送された時の見え方とか、気になる部分もありますが、まずは全国の視聴者の皆様が、お住まいに近い場所で実際にライブコンサートの楽しさを共有していただくということが大事なことかと思っております。将来は、大きなコンサートホールでハピクラコンサートを実施して行きたいと思います。因みに、去年はイオンシネマでのコンサートは一日一回公演でしたが、今年は一日二回公演に増やしました。知名度が確実に上がってきたと実感しています。

またYouTubeに関しては、この一年間でかなり強化しました。CS放送のご契約者の方達だけでなく、全世界の人達が見ることが出来ますので、YouTubeに決定的な活路を見出せている訳ではありませんが、今後はグッズをイベント会場外でも売って行かなければならないし、より多く売る為にはキャラクターを知ってもらわなければならないので、先ずは多くの方々に見てもらうことが重要だと感じています。その為ショートコンテンツを多く並べ、その後イオンシネマでのコンサートやハピクラアプリの告知を入れるという導線を作っています。

委： 「子育てTV ハピクラ」番組内に適度な間が設けられればよいのではというご意見も聞かれました

が、特にダンスの動きはとてもテンポが早く綺麗だと思う一方、小さな子どもの中には動きについて行けない、圧倒されてしまう子もいるのではと思いました。のみ込みが遅い子もいるということも想定して、レッス的な練習用のアドバイスコーナーがあってもよいのではと思いました。

番組の中で、かたつむりが取り上げられていましたが、最近特に都会では、実際にかたつむりを見る機会も少なくなってきたこともあり、つを出してのろのろという説明では、少し分かりづらかったです。また、ひらがなを習うコーナーで、もぐらが出てきた場面では、普段見掛けない動物なので、絵を見てもぐらに目があったかどうか、また、どんな体形をしているか初めて知ったという子ども達もいたのではないのでしょうか。

委： 私は富士山の歌が一番盛り上がりましたね。一緒に楽しく歌えました

局： 富士山の歌はイベント会場でも喜んでもらえ、多くの人に歌ってもらえました。

局： 皆さんより多くの貴重なご意見を伺えたかと思えます。どうも有り難うございました。いただいたご意見を参考により良い番組作りに活かしたいと考えます。それではこれにて、審議番組「子育てTV ハピクラ」の合評を終了いたします。

5. 視聴者からのご意見

局： 今回より視聴者様から当社カスタマーセンターにお寄せいただいた意見を番組審議会でいくつかご紹介させていただければと思います。これらご意見も今後より良い番組調達・編成に活かすべく参考にさせていただいております。

本年度改編期にあたる4月は、カスタマーセンターへの入電件数が365件ありました。その内、1割弱にあたる34件が、「銀魂」、「おそ松さん」、「サンライズDX(デラックス)」に関わるご意見でした。

これら3番組・枠に対する共通するご意見としては、地上波キー局、他の有料Chで今見ることが出来ない番組を放送してくれて有り難いという点でした。

加えて「おそ松さん」に関しましては、地上波ではなかった字幕放送をキッズステーションで対応してくれて有り難いというお声をお寄せ頂いております。

一方で、今後改善等の参考になるご意見もお寄せいただいております。代表的なものとしては、昨年10月から放送の「サンライズDX(デラックス)」に関して、見逃がした番組があるので、再放送を是非して欲しいというものでした。これは、同放送枠で放送した作品の中にレンタル店でもあまり見かけない、またパッケージ商品としても既に製造中止となっているものが多くあることが理由と思われる。

委： 「おそ松さん」は、キッズステーションでの放送には字幕が付き、それは現代社会のニーズに応じた、人にやさしい放送ということで、とてもよい取り組みだと思えます。

局：以上をもちまして、2016年度第1回番組審議会を終了させていただきます。

6.その他事項

- 2016年度第2回番組審議会については、決定次第連絡いたします。

以 上